

救急医学講座 (救命救急センターを含む)

著 書

- 1 阪本雄一郎, 丸道 哲: controlled DIC と uncontrolled DIC. DIC のすべて 基礎と診療の最前線 1391-1394, 総合医学社. 東京 2010.
- 2 阪本雄一郎, 益子邦洋, 小幡 徹, 横田裕行, 池田寿昭, 谷 徹, 嶋田 紘: Polymyxin B-immobilized fiber column-Direct hemoperfusion (PMX-DHP) の適応基準としての Endotoxin scattering photometry 法によるエンドトキシン値の有用性. エンドトキシン研究 13: 11-16, 医学図書出版株式会社. 東京 2010.
- 3 阪本雄一郎, 上原誉志夫, 大林完二, 隅谷護人, 益子邦洋, 松岡博昭: 腹部の外傷. 総合診療マニュアル 347-349, 金芳堂. 京都 2010.

原著論文

- 1 *Jonas A-P, 宮崎祐介, 宇治橋貞幸, 持丸正明, 河内まき子, 阪本雄一郎: 並進と回転の衝撃をうける頭部の応答と形状個体差の影響. 日本機械学会論文集 76: 44-51, 2010.
- 2 阪本雄一郎, 益子邦洋, 小幡 徹, 宮庄 拓, 横田裕行: 敗血症性 DIC における Antithrombin 製剤の治療効果および病態に関する検討. バイオメディカル 20: 41-45, 2010.
- 3 阪本雄一郎, 益子邦洋, 小幡 徹, 宮庄 拓, 横田裕行: 各種敗血症関連因子および Multiplex suspension array system による多種サイトカイン値からみた術後症例における PMX-DHP の効果についての検討. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14: 97-103, 2010.
- 4 阪本雄一郎, 益子邦洋, 松本 尚, 横田裕行: Japan Trauma Data Bank (JTDB) のデータからみた外傷症例におけるドクターヘリ搬送の有用性についての検討. 日臨救医誌 13: 356-360, 2010.
- 5 阪本雄一郎, 益子邦洋, 横田裕行: Pulse Contour Cardiac Output (PiCCO) からみた肺障害と各種炎症系マーカー (CRP, プロカルシトニン, Endotoxin Activity Assay) との関連性についての検討. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 14: 196-200, 2010.
- 6 阪本雄一郎, 益子邦洋, 横田裕行: Sepsis の転帰と乳酸値および PMX-DHP 後における CHDF の hemofilter 選択に関する検討. ICU と CCU 34: 555-559, 2010.
- 7 *富永 茂, 西本哲也, 阪本雄一郎, 益子邦洋: 交通外傷における日本人版予測生存率モデルの算出とその特徴解析. 自動車技術会論文集 41: 1237-1242, 2010.
- 8 Sakamoto Y, Mashiko K, Matsumoto H, Hara Y, Kutsukata N, Yokota H: Systemic Inflammatory Response Syndrome Score at Admission Predicts Injury Severity, Organ Damage and Serum Neutrophil Elastase Production in Trauma Patients. J Nippon Med Sch 77: 138-144, 2010.
- 9 Sakamoto Y, Mashiko K, Obata T, Matsumoto H, Hara Y, Kutsukata N, Yokota H: Effectiveness of early start of direct hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fiber columns judging from stabilization in circulatory dynamics in surgical treatment patients. IJCCM 14: 35-39, 2010.
- 10 Sakamoto Y, Mashiko K, Saito N, Matsumoto H, Hara Y, Kutsukata N, Yokota H: Effectiveness of Human Atrial Natriuretic Peptide Supplementation in Pulmonary Edema Patients Using the Pulse Contour Cardiac Output System. Yonsei Medical Journal 51: 354-359, 2010.

症 例

- 1 *増田幸子, 阪本雄一郎, 益子邦洋, 横田裕行: 呼吸障害に対する PMX-DHP 施行後の肺酸素化の改善を PiCCO (Pulse Contour Cardiac Output) システムでモニタリングした 1 例. 日本急性血液浄化学会誌 1 : 188-192, 2010.
- 2 *本村友一, 朽方規喜, 益子 邦, 阪本雄一郎, 横田裕行, 富永 茂, 西本哲也: 軽微な車両破損の交通外傷にて受傷した心損傷の 1 例. 日救急医学会関東誌 31 : 18-19, 2010.
- 3 Kutsukata N, Mashiko K, Matsumoto H, Hara Y, Sakamoto Y, Koami H: A Case of Commotio Cordis Caused by Steering Wheel Injury. J Nippon Med Sch 77: 218-220, 2010.

総 説

- 1 *益子邦洋, 松本 尚, 朽方規喜, 林田和之, 本村友一, 阪本雄一郎, 横田裕行: Acute Care Surgery 研究会と外傷センターで外傷外科医の育成を図れ. 日本外科学会雑誌 111 : 31-32, 2010.
- 2 阪本雄一郎: エンドトキシン吸着療法. 救急医学 34 : 313-316, 2010.
- 3 阪本雄一郎: 医工連携による交通事故調査システムの立ち上げと将来展望. 救急医学 34 : 569-572, 2010.
- 4 阪本雄一郎, 石垣 司, 本村陽一: 外傷データベースと頭部外傷. 救急医学 34 : 1731-1734, 2010.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Kutsukata N, Mashiko K, Matsumoto H, Hara Y, Yokota H: Current Surgical Strategy for Vascular Trauma - From a Japanese Situation. The 11th Annual Congress of Asian Society for Vascular Surgery. 2010, 6, 29-7, 2. ASVA 2010 FP 18-5.
- 2 Kutsukata N, Mashiko K, Yokota H, Ochi M: Current Surgical Strategy for Vascular Trauma - From a Japanese Situation of Emergency Critical Treatment -. The 6th Meeting German-Japanese Society for Vascular Surgery. 2010, 8, 26-28. GJSVS 2010 Leipzig.
- 3 Kutsukata N, Sakamoto Y, Mashiko K, Matsumoto H, Hara Y, Yokota H: 3 Cases of subclavian artery injury caused by traffic accident. 11th European Congress of Trauma and Emergency Surgery. 2010, 5, 15-18. ESTES 2010 998.
- 4 Sakamoto Y: Ajou International Trauma Conference Trauma surgeon in action (Guest speaker). 2010, 5, 20.
- 5 Sakamoto Y, Mashiko K, Matsumoto H, Hara Y, Kutsukata N, Yokota H: Vital signs abnormalities as a part of the pre-hospital assessment of trauma patients. 11th European Congress of Trauma and Emergency Surgery. 2010, 5, 15-18.
- 6 Sakamoto Y, Mashiko K, Motomura Y, Nishida Y, Ishigaki T, Fujiki N, Yokota H: Analysis of Trauma Data Using an Advanced Statistical Method (Bayesian network approach). 11th European Congress of Trauma and Emergency Surgery. 2010, 5, 15-18.
- 7 Sakamoto Y, Mashiko K, Obata T, Ito T, Iwamura T, Nakashima A, Yahata M, Yokota H: laboratory parameters following polymyxin B-immobilized fiber treatment in septic shock. 23th European Society Intensive Care Medicine Annual Congress Effect prediction. 2010, 10, 10-13.

国内全国規模の学会

- 1 伊藤栄近, 八幡真由子, 中島厚士, 岩村高志, 阪本雄一郎: Ai センター設置後の症例について. 第38回日本救急医学会総会. 2010, 10, 9-11. 日本救急医学会雑誌 21, 8, 513.

- 2 岩村高志, 平原健司, 八幡真由子, 中島厚士, 伊藤栄近, 阪本雄一郎: 蒸散冷却法と Arctic Sun との連携による低体温療法管理および転院搬送例への応用. 第13回 日本脳低温療法学会. 2010, 7, 2 3. 日本脳低温療法学会プログラム・抄録集13, 61.
- 3 朽方規喜, 益子邦洋, 松本 尚, 阪本雄一郎, 別所竜蔵, 石井庸介, 落 雅美, 横田裕行: 深部静脈血栓症ならびに急性肺血栓塞栓症に対する外科治療. 第38回日本血管外科学会. 2010, 5, 20 22. 日本血管外科学会雑誌 19(2) 183 202, パネルディスカッション.
- 4 朽方規喜, 益子邦洋, 松本 尚, 阪本雄一郎, 横田裕行: 鈍的大動脈損傷に対する大動脈ステントグラフト内挿術の治療経験. 第51回日本脈管学会総会. 2010, 10, 14 16. 脈管学 50.
- 5 朽方規喜, 益子邦洋, 松本 尚, 阪本雄一郎, 横田裕行: 鈍的腹部大動脈損傷に対する治療の経験. 第46回日本腹部救急医学会. 2010, 3, 18 19. 日本腹部救急医学会雑誌ワークショップ3 WS3 05.
- 6 朽方規喜, 益子邦洋, 松本 尚, 阪本雄一郎, 横田裕行: 救急医療における PCPS の現状: 適応と離脱. 第38回日本救急医学会総会・学術集会. 2010, 10, 9 11. 日本救急医学会雑誌 10226 パネルディスカッション PD2 7.
- 7 朽方規喜, 益子邦洋, 松本 尚, 横田裕行, 落 雅美, Kindl R, Liewald F: 血行再建手技の基本と外傷外科領域での応用. 第35回日本外科系連合学会. 2010, 6, 17 18. 日本外科系連合学会誌 35 (2010) ビデオシンポジウム VD8 3.
- 8 朽方規喜, 益子邦洋, 松本 尚, 横田裕行, 田島廣之, 落 雅美: 外傷による鈍的腹部大動脈損傷に対する治療の経験. 第38回日本血管外科学会. 2010, 5, 20 22. 日本血管外科学会雑誌 19(2) 293 356 一般口演 GLO11 5.
- 9 朽方規喜, 阪本雄一郎, 益子邦洋, 本村友一, 横田裕行, 落 雅美, 富永 茂, 西本哲也: 鈍的心損傷における損傷部位の形態評価ならびに交通事故例調査による外傷予防研究. 第63回日本胸部外科学会定期学術集会. 2010, 10, 24 27. 2010年第63回日本胸部外科学会学術集会 581 585 MA 161.
- 10 中島厚士, 八幡真由子, 岩村高志, 伊藤栄近, 阪本雄一郎: 悪性症候群の検討. 第38回日本救急医学会総会. 2010, 10, 9 11. 日本救急医学会雑誌 21, 8, 532.
- 11 阪本雄一郎: 敗血症性ショック症例に対して望ましい CHDF カラムと転帰に影響を及ぼす病態は何か?. 第25回日本 Shock 学会総会 (ランチョンセミナー). 2010, 5.
- 12 阪本雄一郎: 急性期 DIC 診断基準による敗血症性 DIC と臓器不全及び各種敗血症関連因子との関連性. 第21回バイオメディカルフォーラム (シンポジウム). 2010, 12, 4.
- 13 阪本雄一郎: PMX-DHP を施行した敗血症性ショック症例の転帰・効果予測因子に関する検討. 第21回日本急性血液浄化学会学術集会 (教育講演). 2010, 10, 23 24.
- 14 阪本雄一郎: 施設連携による臨床研究...敗血症性 DIC から交通事故まで. 第24回日本外傷学会総会・学術集会 (ランチョンセミナー). 2010, 5, 27 28.
- 15 阪本雄一郎, 小幡 徹, 宮庄 拓: PMX-DHP による急性期アフエレシス治療. 第31日本アフエレシス学会学術集会 (シンポジウム). 2010, 11, 5.
- 16 阪本雄一郎, 益子邦洋, 小幡 徹, 松本 尚, 原 義明, 朽方規喜, 横田裕行: 各種敗血症関連因子からみた急性血液浄化療法の効果. 第21回日本急性血液浄化学会学術集会 (シンポジウム). 2010, 10, 23 24.

- 17 阪本雄一郎, 益子邦洋, 松本 尚, 原 義明, 朽方規喜: 重症肝損傷に対する治療戦略に関する検討. 第41回日本腹部救急医学会総会(シンポジウム). 2010, 3, 18-19.
- 18 阪本雄一郎, 益子邦洋, 松本 尚, 小幡 徹, 横田裕行: 緊急手術症例における早期経腸栄養管理についての検討緊急手術症例における早期経腸栄養の有用性に関する検討. 第65回日本消化器外科学会総会(パネルディスカッション). 2010, 7, 14-16.
- 19 阪本雄一郎, 益子邦洋, 本村陽一, 西田佳史, 石垣 司, 横田裕行: 医療現場で蓄積されている大規模データの有効利用に向けて. 第24回人工知能学会全国大会. 2010, 6, 9-11.
- 20 阪本雄一郎, 益子邦洋, 本村陽一, 西田佳史, 石垣 司, 横田裕行: Japan Trauma Data Bank(JTDB)のデータを用いた医工連携による本邦独自の外傷予後予測指標確立について. 第24回日本外傷学会総会・学術集会(ワークショップ). 2010, 5, 27-28.
- 21 阪本雄一郎, 益子邦洋, 西本哲也, 富永 茂, 横田裕行: 医工学連携による総合的交通事故調査体制について. 自動車技術会2010年春季フォーラム. 2010, 5, 19.
- 22 阪本雄一郎, 益子邦洋, 西本哲也, 富永 茂, 横田裕行: 医工連携による交通事故調査システムの立ち上げと将来展望. 第24回日本外傷学会総会・学術集会(パネルディスカッション). 2010, 5, 27-28.
- 23 阪本雄一郎, 宮崎祐介, 益子邦洋, 横田裕行: 自動車運転手の交通事故症例における開腹手術症例の特徴とコンピュータシミュレーションによるシートベルト損傷危険因子の検討. 第38回日本救急医学会学術総会. 2010, 10, 9-11.

その他の学会

- 1 林奈宜, 岩村高志, 八幡真由子, 中島厚士, 伊藤栄近, 阪本雄一郎: 2次医療機関における院外心停止蘇生後患者への対応 転院搬送を考慮した低体温療法とその具体的方法の提案. 第33回佐賀救急医学会. 2010, 9, 25. 第33回佐賀救急医学会抄録, 14.
- 2 阪本雄一郎: 救急医療におけるドクターヘリコプター~千葉県と佐賀県の現状から~. 第33回佐賀救急医学会パネルディスカッション. 2010, 9, 25. 第33回佐賀救急医学会抄録, 28.
- 3 八幡真由子, 阪本雄一郎: Japan Trauma Data Bank からみた手術開始時間と予後との関連. Acute care surgery 研究会. 2010, 11, 1.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
救急医学 講座教授	阪本雄一郎	独立行政法人 産業技術総合研究所	委託研究	医療看護現場での業務プロセスモデリング技術の研究	15,000